

株式会社セゾン情報システムズ HULFT 事業部 ヘルプデスク

タイトル

Windows XP Service Pack 2 環境下での利用について

~ 「HULFT マネジャー for Web」編 ~

ドキュメント情報

技術文書番号:	1-HMW6-PC001-01		
OS :	Windows XP Professional SP2		
製品名 / バージョン:	HULFT マネジャー for Web Ver.6		
最終更新日:	2005/03/28		

1 はじめに

Windows XP Service Pack 2(以下 Windows XP SP2)の Windows ファイアウォールには、セキュ リティ強化のための大幅な変更が加えられています。また、Service Pack 2 のインストールでは、 Windows ファイアウォールが既定で有効に設定されます。

この変更は、HULFT マネジャー for Web の動作に影響を与えますが以下の設定を行うことで、 Windows ファイアウォールを有効にしたままで HULFT マネジャー for Web を利用することが可能 となります。

なお、Windows XP SP2、Windows ファイアウォールの詳細については、マイクロソフト株式会社様 にお問合せください。

2 HULFT マネジャー for Web の利用方法

Windows XP SP2 環境下で HULFT マネジャー for Web を利用する場合、Apache HTTP Server のポー ト番号を Windows ファイアウォールに設定してください。既に、Apache HTTP Server のポート番 号を設定している場合、Windows ファイアウォールへの設定の必要はありません。

2.1 ポート番号の確認

Apache HTTP Server で使用しているポート番号を調べ、設定値を控えてください。

【備考】Apache Ver.2.0を使用の場合、ポート番号は以下に設定されています。

- ・「Apache をインストールしたディレクトリ¥conf¥httpd.conf」ファイルをテキストファイルとして開きます。
 - ・ファイル内の「Listen」に指定されているポート番号を控えます。

2.2 Windows ファイアウォールの設定

Windows のコントロールパネルを開き、「セキュリティーセンター」 - 「Windows ファイアウォール」を選択し ます。既存で「有効」にチェックがされていることを確認します。「無効」になっている場合には特に設定の必 要はありません。

😻 Windows ファイアウォール
全般例外詳細設定
Windows ファイアウォールはコンピュータの保護に役立っています。
Windows ファイアウォールでは、承認されていないユーザーによるインターネットまたはネットワーク経由のアクセスを阻止することにより、コンピュータの「保護に役立てます。
● 有効 (推奨)(Q) この設定では、(例外) タブで選択されたものを除くすべての外部ソースからのこのコン ビュータへの接続をプロックします。
○ 例外を許可しない(型) 空港などのセキュリティの弱い場所で、パブリックネットワークに接続する場合に 選択してください。プログラムが Windows ファイアウォールでプロックされても、通 知はされません。[例外] タブの選択は無視されます。
● 無効 (推奨されません)(E) この設定は避けてください。Windows ファイアウォールを無効にすると、このコンピュー なをウイルスや侵入者にさらす危険性が増す可能性があります。
Windows ファイアウォールで、ドメインの設定を使用しています。 <u>Windows ファイアウォールのその他の詳細</u> を表示します。
OK キャンセル

画面 2-1 Windows ファイアウォール画面 「全般」タブ

「例外」タブをクリックし「ポートの追加」を選択します。

😺 Windows ファイアウォール 🛛 🔀
全般例外詳細設定
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。
プログラムおよびサービス(P):
名前
□ UPnP フレームワーク ☑ ファイルとプリンタの共有 ☑ リモート アシスタンス □ リモート デスクトップ
「プログラムの追加化シ」(ボートの追加心シ) 編集化シ 削除心
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時(ご通知を表示する(N)
例外を許可することの危険の詳細を表示します。
<u> </u>

画面 2-2 Windows ファイアウォール画面 設定前の「例外」タブ

「ポートの追加」ダイアログが表示されるので、「名前」に任意の名前を登録し、ポート番号に「2.1 ポート 番号の確認」で控えた「ポート番号」を入力します。

ポートの編集	
これらの設定を使って、 ロトコルについては、使	Windows ファイアウォールでポートを聞いてください。ポート番号およびブ 用するプログラムまたはサービスのドキュメントを参照してください。
名前(<u>N</u>): ポート番号(<u>P</u>):	HTTP Server 80
ポートを開くことの危険の詳細を表示します。	
スコープの変更(<u>C</u>)	OK キャンセル

画面 2-3 ポートの追加画面

以上で作業完了です。登録した名前にチェックがついていることを確認して HULFT マネジャー for Web の動作 確認を行って下さい。

😺 Windows ファイアウォール 🛛 🗙
全般例外詳細設定
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたブログラムおよびサービスのためのものを除き、 Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。
プログラムおよびサービス(P):
名前 🔷
 ☑ HTTP Server □ UPnP フレームワーク ☑ ファイルとブリンタの共有 ☑ リモート アシスタンス □ リモート デスクトップ
(プログラムの追加(R)) ポートの追加(Q)) 編集(E) 削除(D)
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時にご通知を表示する(N)
例外を許可することの危険の詳細を表示します。
OK キャンセル

画面 2-4 Windows ファイアウォール画面 設定後の「例外」タブ